

ケース・プロフィール記入用紙

療育塾ドリームタイム

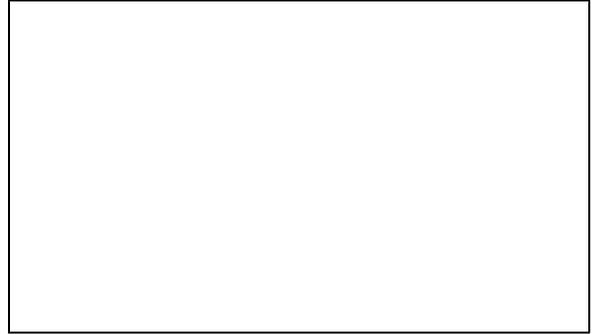
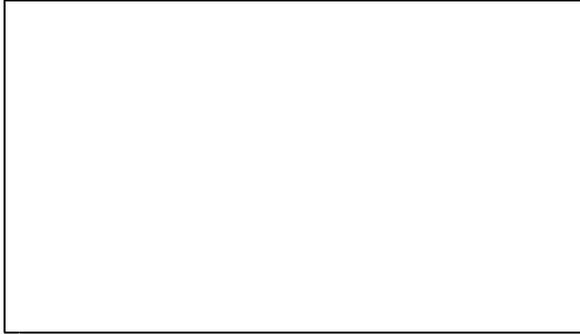
記入年月日：20 年 月 日

◆	ふりがな	お子様の氏名： _____ (男・女)	生年月日(西暦)： _____ 年 月 日生 年 齢： _____ 才 ヶ月
◆	ふりがな	保護者(名のみ)：父： _____ (歳)・母： _____ (歳)	備考： _____
兄弟姉妹、その他のご家族(名と年齢)			
◆	住所： 〒 _____	都・道 府・県 _____ 市・区 町・村 _____	TEL () _____ FAX () _____ E-mail(1) _____ @ _____ E-mail(2) _____ @ _____
①PHS・携帯 () _____		所有者(父 or 母)	
②PHS・携帯 () _____		所有者() _____	
◆	「療育塾ドリームタイム」について、どの様な経緯でお知りになりましたか？ <input type="checkbox"/> 通っている(いた)保育・療育・教育機関(施設名： _____)からの紹介 <input type="checkbox"/> 知人(お名前： _____)からの紹介 <input type="checkbox"/> 講演会、学習会に参加したことがある <input type="checkbox"/> その他(具体的に： _____)		
★すでに、下記の書籍をお持ちの方は、□に✓を入れて下さい <input type="checkbox"/> 育てにくい子にはわけがある(大月書店) <input type="checkbox"/> これでわかる自閉症とアスペルガー症候群(成美堂) <input type="checkbox"/> これでわかる[気になる子]の育て方(成美堂) <input type="checkbox"/> 発達障害の子の感覚遊び・運動遊び(講談社) <input type="checkbox"/> 発達障害の子の読み書き遊び・コミュニケーション遊び(講談社) <input type="checkbox"/> 発達障害の子の指遊び・手遊び・腕遊び(講談社) <input type="checkbox"/> 発達障害の子を理解して上手に育てる本/幼児期編(小学館) <input type="checkbox"/> 小学校で困ることを減らす親子遊び10/6~12歳(小学館) <input type="checkbox"/> 保育者が知っておきたい発達が気になる子の感覚統合(学研) <input type="checkbox"/> 発達支援・実践塾(学苑社) <input type="checkbox"/> 実践家へのメッセージ/発達支援・実践講座(学苑社) <input type="checkbox"/> わかって私のハンディキャップ6・統合運動しようがい(大月書店)			
◆	診断名(無記入でも可)：発達のつまずきに関わる「診断名」がついておりましたらお聞かせ下さい。 病院名など： _____ 担当医師名： _____ 時期： _____ 才 ヶ月頃 診断名： _____ 病院名など： _____ 担当医師名： _____ 時期： _____ 才 ヶ月頃 診断名： _____ 病院名など： _____ 担当医師名： _____ 時期： _____ 才 ヶ月頃 診断名： _____		
◆	投薬状況：現在、使っている薬(特に、抗てんかん薬など)がありましたら、ご記入下さい。 <input type="checkbox"/> 特になし <input type="checkbox"/> 服薬中(名称・頻度・摂取量などを下に記して下さい)		
◆	禁忌事項：医者からの禁止事項(発作・アレルギー・骨折しやすい等)がありましたら、ご記入下さい。 <input type="checkbox"/> 特になし <input type="checkbox"/> 以下のことを念頭に置いて指導して下さい		
◆	他のお子さんとは違って違っていると最初にお気づきになったのはいつでしたか。また、どんな点でしたか？		
◆	現在のお子様の発達や成長について、 <u>気がかりなこと・ご心配なこと</u> をお書き下さい。 また、 <u>最も気になることにアンダーライン</u> を引いて下さい。		

続

A / 描画で、お子さんの描いたものをそのまま模写してみてください。

B / 大人の描いた絵を真似して書きますか？
できる場合は、そのまま模写してみてください



《記入のしかた》は前ページを参照 / 表記：「□歳△ヶ月」や「▽歳ころ」か・△印・×印

幼児期前半～就学前段階のチェック項目	発達の目安
ことば(発語)	
・「意味のある単語(一語文：パパ・マンマ・ブーブーなど)」を話す	1歳頃
・「意味のある単語を2つつなげて(二語文：ワンワン、イターーなど)」を話す	2歳頃
・「三語文から四語文(例：パパ、オト、イタイ、オカイ、ワンワン、アッ、イッなど)」を話す	3歳手前頃～
ことば(理解)	
・簡単なお手伝いで、「○○取ってきて」程度なら理解できる	1歳半ば頃～
・名前を聞かれると、「フルネーム(姓と名)」で答えることができる	2歳後半頃～
・ことばの指示で、「大きい／小さい(例：大きい方はどっち?)」が理解できる	2歳後半ば頃
・ことばの指示で、「長い／短い(例：長い方はどっち?)」が理解できる	2歳後半ば頃
・ことばの指示で、「高い／低い(例：高い方はどっち?)」が理解できる	3歳前半頃～
数の理解	
・「カウント1.0(例：10数えたらお終いね等)」が理解できている	2歳半ば頃～
・「3個程度の数(例：3個ちょうだいの指示で正しく取れる等)」が理解できる	3歳前半頃～
・「数字を拾い読み」することができる	4歳後半頃～
・「1.0程度の数(例：10個ちょうだいの指示で正しく取れる等)」が理解できる	4歳半頃～
・「5程度なら(指も使って)足し算(例：2に3を足すといくつ?等)」ができる	5歳後半頃～
・「5程度なら(指も使って)引き算(例：5から3を引くといくつ?等)」ができる	5歳後半頃～
読み書き	
・「自分の名前程度なら、ひらがなやカタカナで書く」ことができる	5歳頃～
・「ひらがなの文章を拾い読み」することができる(意味の理解までは問わない)	5歳頃～
・「ひらがなの50音を、ほぼ読むことができる	5歳半頃～
・「ひらがなの文章を読む」ことができる(意味の理解もほぼできる)	5・6歳頃～
イタズラ	
・「イタズラ」を叱られそうになると、親の顔色をうかがい手を引っ込める	1歳手前頃～
・「ダメよ!」と叱られると、かえってわざとイタズラをする	1歳後半頃～
・バレないようにして禁止されていることをする (例：黙って食べたお菓子の包み袋を別の部屋のゴミ箱に捨てておく等、証拠隠滅?!ができる)	4歳頃～
子どもどうし	
・子ども達どうしで、「追いかけっこ」を楽しむことができる	2歳前半頃～
・年下の子ども世話をやきたがる	3歳半頃～
積み木や型はめパズル	
・2～3個の積み木を「縦に積む」ことができる	1歳半頃～
・7～8個の積み木を「縦に積む」ことができる	2歳前半頃～
・型はめ2枚パズルなどで、見ただけで「大きい／小さい」を判断しはめ分ける	2歳頃～
・「コップ重ね」の玩具で3個程度なら、見ただけでサイズ順に重ねる	～1歳後半
・「コップ重ね」の玩具で5個程度なら、見ただけでサイズ順に重ねる	～2歳前半
ボール	
・ボールを前に蹴ることができる	1歳後半頃～
・体のひねり(回旋)は乏しいが、ボールを「上手投げ」できる	2歳頃～
・体のひねり(回旋)を伴わせて、ボールを「上手投げ」できる	3歳頃～
片足立ち	
・瞬間(1秒あるかないか)ならば、「片足立ち」ができる	～2歳頃
・2～3秒ていどならば、「片足立ち」ができる	3歳頃～
・5～6秒ていどならば、「片足立ち」ができる	5歳頃～
・20秒程度ならば、「片足立ち」ができる	6歳頃～
ジャンプ	
・両足をそろえての「その場跳び(両足ジャンプ!)」ができる	2歳手前頃～
・低い段差なら、「飛び降り」ができる	2歳前半頃～
・両足をそろえての「幅跳び」ができる	2歳半ば頃～
・「片足ケンケン」が数回以上続けてできる	3歳後半頃～
階段	
・一人で、「足をそろえながら」階段を「上がる」ことができる	1歳後半～
・一人で、「足を交互に出して」階段を「上がる」ことができる	～2歳半ば頃
・一人で、「足をそろえながら」階段を「降りる」ことができる	2歳後半～
・一人で、「足を交互に出して」階段を「降りる」ことができる	3歳半ば頃～
外遊び	
・「三輪車」をこぐことができる	2歳後半～
・ブランコで「立ち乗り」ができる	～4歳頃
・ブランコで「立ち乗り」で「大きくこぐ」ことができる	6歳頃～

◆ 今までにお子様にご利用された保育園・幼稚園・学校・療育機関・医療機関などをご記入下さい。複数ある場合は可能な限りご記入下さい。 ※ 記入先に無断で連絡したり、その他の不利益が生じることは一切ありません。

●**現在**、通っている保育園・幼稚園／あるいは、学校(普通級・通級・支援学級・支援学校)←○で囲む

園or校名： _____ TEL _____ () _____

住所：〒 _____ 都・道 市・区 FAX _____ () _____
府・県 町・村

■ 利用時期： _____
■ 利用頻度： _____

●**現在**、利用中の発達支援センターや療育機関

機関名： _____ TEL _____ () _____

住所：〒 _____ 都・道 市・区 FAX _____ () _____
府・県 町・村

■ 利用時期： _____
■ 利用頻度： _____

●**現在**、利用中の病院や医療センター

院名： _____ TEL _____ () _____

住所：〒 _____ 都・道 市・区 FAX _____ () _____
府・県 町・村

■ 利用時期： _____
■ 利用頻度： _____

●**その他、現在**、利用中のところ(1)

機関名： _____ TEL _____ () _____

住所：〒 _____ 都・道 市・区 FAX _____ () _____
府・県 町・村

■ 利用時期： _____
■ 利用頻度： _____

●**その他、現在**、利用中のところ(2)

機関名： _____ TEL _____ () _____

住所：〒 _____ 都・道 市・区 FAX _____ () _____
府・県 町・村

■ 利用時期： _____
■ 利用頻度： _____

▼**過去**に通った保育園・幼稚園／あるいは、学校(普通級・通級・支援学級・支援学校)←○で囲む

園or校名： _____ TEL _____ () _____

住所：〒 _____ 都・道 市・区 FAX _____ () _____
府・県 町・村

■ 利用時期： _____
■ 利用頻度： _____

▼**過去**に利用した発達支援センターや療育機関

機関名： _____ TEL _____ () _____

住所：〒 _____ 都・道 市・区 FAX _____ () _____
府・県 町・村

■ 利用時期： _____
■ 利用頻度： _____

▼**過去**に利用した病院や医療機関

院名： _____ TEL _____ () _____

住所：〒 _____ 都・道 市・区 FAX _____ () _____
府・県 町・村

■ 利用時期： _____
■ 利用頻度： _____

▼**その他、過去**に利用したところ(1)

機関名： _____ TEL _____ () _____

住所：〒 _____ 都・道 市・区 FAX _____ () _____
府・県 町・村

■ 利用時期： _____
■ 利用頻度： _____

▼**その他、過去**に利用したところ(2)

機関名： _____ TEL _____ () _____

住所：〒 _____ 都・道 市・区 FAX _____ () _____
府・県 町・村

■ 利用時期： _____
■ 利用頻度： _____

感覚統合スクリーニング・チェック用紙 (第1葉)

よみ 氏名：	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 男 女 </div>	記入日：20 年 月 日(曜日)	記入者 父・母・職員・他(下記)					
		生年月日：20 年 月 日生まれ						
		暦年齢： 歳 ヶ月						
● 該当程度は、「3」・「2」・「1」・「0」の数値で記入／未経験で不明など	幼少期 とりわけ 2～3歳 頃の様子	現在の 様子	該当時の状態像など					
チェック項目 <table style="font-size: small; margin-left: 10px;"> <tr> <td>強く 該当する</td> <td>3ほどは 強くない</td> <td>0ほどは 弱くない</td> <td>該当しない あるいは一過性にあった程度</td> <td>「？」マーク</td> </tr> </table>	強く 該当する	3ほどは 強くない	0ほどは 弱くない	該当しない あるいは一過性にあった程度	「？」マーク			
強く 該当する	3ほどは 強くない	0ほどは 弱くない	該当しない あるいは一過性にあった程度	「？」マーク				
1. 触覚系A：身だしなみを整える・健康を維持するために、親ならば当たり前に行う養育行為に強い拒否や抵抗を示す＝生活面での「拒否」や「育てにくさ」が多く出る								
① 散髪されることを嫌がる～とりわけ、耳の周りやうなじ								
② 耳アカ取りをされるのを嫌がる～自分ではできていても								
③ 歯磨きされるのを嫌がる～歯ブラシに噛み付くor自分では磨く								
④ 爪切りをしてもらうのを嫌がる～自分で爪噛みしていることも								
⑤ 口の周りを拭いてもらうのを嫌がる～何でも口に入れるのに								
⑥ 顔を洗ってもらうのを嫌がる								
⑦ 髪の毛をといってもらうのを嫌がる								
⑧ 髪の毛を洗ってもらうのを嫌がる								
2. 触覚系B：身につけるものへの拒否やこだわり								
① 袖口などが少しでも濡れると着替えたがる～大わめきすることもあり								
② 帽子をかぶるのを嫌がる～とりわけ顎ヒモが嫌いで口に入れて噛んでいる等								
③ マスクを着けるのを嫌がる								
④ お面などをかぶるのを嫌がる								
⑤ マフラーを嫌がる～タートルネックのセーターなども嫌がることあり								
⑥ 手袋を嫌がる～ミトンならOKだが、5本指の手袋は嫌がること多い								
⑦ 素足になりがたる／靴や靴下を脱いでしまうことが多い								
⑧ 裸になりがたる／服を脱いでしまうことが多い								
⑨ 襟に付いているタグが嫌い～キレイに切り取れば、着てくれることもある								
⑩ 服を着るのが嫌いで、すぐに裸になりたがる								
⑪ 腕まくりや裾まくりが嫌い	年中、長袖・長ズボンを着たがる							
⑫ 半袖・半ズボンが嫌い								
⑬ 腕まくりや裾まくりを好む	年中、半袖・半ズボンを着たがる							
⑭ 長袖・長ズボンが嫌い								
3. 触覚系C：自分からは触りにいくのに、触られることには拒否が出やすい ～アクティブタッチは出来ても、パッシブタッチでは拒否が出やすい								
① 子どもの方から手をつないできたので、握りなおしたら手を振り払い嫌がること多い								
② 子どもの方から膝に乗ってきたので、抱き直そうそしたら嫌がって逃げた								
③ 子どもの方から遊具に手を伸ばしていたのに、大人の方から持たせると、手を引っ込めた								
4. 触覚系D：触れる素材が偏る 「触れない」だけではなく、触れるようになると「過剰に触る」場合もあり(≡自己刺激行動)、それらが一人の子どもの中で混在する								
① ベットリ系：糊、粘土など								
② チクチク系：砂、芝生など								
③ フワフワ系：ぬいぐるみ、ボアの素地など								
④ ヒエヒエ系：公園遊具の金属部分、ピータイル、板の間など								
5. 触覚系E：攻撃性と自己刺激行動 ～近くにいる人に対する「攻撃性」や、各種の「自己刺激行動」が出やすい								
① 気に入らないことがあると、近くの人に爪を立てる・引っ掻く・噛みつく								
② 気に入らないことがあると、自分の頭をたたく・自分の手を咬む								
③ 手にしたモノや自分の服の襟口や袖を口に入れてなめる・歯に当てる・咬む								
④ 手持ちがぶたや退屈、眠いときに、爪噛みや指しゃぶりする、鉛筆をかじる								
⑤ 手持ちがぶたなときに、自分の頭をたたく・自分の手を咬む								
その他／自由記述～その他、お子さんの「遊び方」や「日常生活」「社会性」などで、気になること								

感覚統合スクリーニング・チェック用紙 (第2葉)

よみ	<div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;"> 男 女 </div>	記入日: 20 年 月 日 (曜日)	記入者	父・母・職員・他(下記)	
氏名:		生年月日: 20 年 月 日 生まれ		年齢: 歳 ヶ月	
● 該当程度は、「3」・「2」・「1」・「0」の数値で記入／未経験で不明など		幼少期 とりわけ 2~3歳 頃の様子	現在の 様子	該当時の状態像など	
チェック項目 <small>強く 該当する</small> <small>3ほどは 強くない</small> <small>0ほどは 弱くない</small> <small>該当しない あるいは一過性にあった程度</small> 「？」マーク					
平衡感覚系	1. 揺れる遊び(フランク・トランプ・リンなど)を嫌う、恐がる				
	2. 揺れる遊び(フランク・トランプ・リンなど)を、過剰に好む				
	3. いつも乗っている遊具でも、姿勢を変えると怖がる				
	4. 自分でクルクル回って遊んでいることが多い				
	4. 自分でピョンピョン飛び跳ねて遊んでいることが多い				
	4. 自分でつま先立ちして遊んでいることが多い				
	5. グルグル廻されてもふらつかない／目が回りにくい				
	6. よく動きまわっている(良く走りまわる)割には、体がぐにゃぐにゃしている(姿勢が崩れやすい)				
	7. 追視・注視・見渡す・見比べる等、目の動かし方が苦手				
	8. プロペラやタイヤなど、クルクル回るものを見ることにはまる				
	9. クリスマスツリーの電飾やミラーボールなどキラキラ光るものに見とれる				
	10. ストライプ模様などを感覚的に見て楽しんでいる				
固有感系	11. 手がざし遊びすることが多い				
	11. 斜め視したり、斜め視しながら走っている				
	12. よく動き廻る(多動、もしくは多動傾向である)				
ポディメー	1. 力の入れ加減が下手で、うまくボールが投げられない				
	1. 力任せに書くのでクレヨンや鉛筆の芯を折ってしまう				
	1. 人を呼ぶ際に「バンバンたたく」行動が多い				
その他	2. 親しげに抱き寄せてくるのに「羽交い締め」様に抱きつく				
	2. 手足にリキみを入れるようなしぐさをよくする				
	3. 飛び降りる遊びなどで、ドンと激しい衝突を好む				
	1. (家で)室内の家具に、体や手足をぶつけやすい				
	2. 前を見て歩いているのに、電柱や人にぶつかりやすい				
	3. (家で)人の手を踏んでいたり、足を蹴っていても気付かないことが多い				
	4. 取りたい物に手を伸ばす際に、コップ等に手を引っかけて倒すことが多い				
	5. 抱っこをしてやっても、しがみつかが下手で抱きづらい				
	6. 公園の遊具(棒登り・ターザンロープなど)にしがみつくのが下手				
	7. 公園の遊具(ジャングルジムなど)またぐ・くぐる・よじ登るのが下手				
8. 理解しているはずなのに、手遊びなど(手の使い方)の「模倣」が苦手					
9. 理解しているはずなのに、遊戯や体操など(全身運動)の「模倣」が苦手					
10. 遊戯や体操で、興味はありそうだが参加せず見ていることが多い					
その他	1. まなざしが合わない、合いにくい、視線回避が多い				
	2. 日中、ボーッとしている(表情がなくなり、動きも乏しくなる)ことが多い				
	3. 一日の中で、時間帯によって、落ち着きがなくなったりキレやすくなる				
	4. 一週間の中で、週初めや週末に落ち着きがなくなったりキレやすくなる				
	5. 音に敏感で「爆発音・破裂音系」を怖がる・耳ふさぎをする → スターターのピストル音、打ち上げ花火、大太鼓等				
	5. 音に敏感で「高い周波数・棘波(カク波)音系」を怖がる・耳ふさぎをする → 食器が擦れるキキ音、水洗のシャワー音、蛍光灯 etcの放電音等				
	5. 音に敏感で「機械音・モーター系」を怖がる・耳ふさぎをする → トイレのエアータオルのプロアー音、掃除機、エンジン音等				
	5. 音に敏感で「反響音・ざわめき音系」を怖がる・耳ふさぎをする → 温水プール、体育館、客が大勢入っているデパートやマーケット等				
	6. 小さい子の泣き声に過剰に反応する(とりわけ赤ちゃんの泣き声)				
	7. 臭い(におい)に対してこだわりがある、過剰に反応する → 具体的に:				
8. 台風などが近づいていたり、月の満ち欠けによって気持が変動しやすい					
9. 排泄リズムが整わず、年中や年長になっても、オムツが取れない(なかった)					
10. 眠る一起きる(睡眠-覚醒)のリズムが不規則である(夜型or昼夜逆転など)					

テーマ：「療育指導」を受ける

◆「木村順」の療育を受けても”効果はナシ(?)カモ”ですよ!

1. 理由：「療育効果」を出すためには、一定の「頻度」が必要だから!

- 1) 最低でも「週1回」の療育指導の頻度が必要～願わくば「週3回」あれば……
- 2) 今どきの療育指導の頻度は、多くて「月に2回」、少なければ「数ヶ月に1回」程度

//
焼け石に水! ≒効果は薄いよね!

2. それじゃ、「療育効果」への期待は、諦めがつきますか?

～諦めたくない方へ……キーワードは「**ワン・ポイント・レッスン**」

○例え話(その1)：ムシ歯の治療編

- 1) あるところに、腕が良いことで有名な歯医者さん「デンタルクリニック木村」がありました。ムシ歯になったあなた、そこに受診しました。ドクター木村は、うわさ以上の腕前で、40分ほどの治療時間で、ムシ歯の治療はもとより、ムシ歯になっていない歯にこびりついている歯石もきれいに削り取り、ピッカピカの歯にしてくれました。
- 2) 一通りの治療が終わって、念のためにもう1回受診することになりましたが、人気があり「**2ヵ月**」先の予約(2ヶ月に1回の頻度)しか取れませんでした。
- 3) 次の「2ヶ月間」、歯磨きもなにもしなければ……またムシ歯になるよね/当たり前(その1)
- 4) もしドクター木村から
 - ①歯並びや、だ液の性質についての「**ウィークポイント**」をわかりやすく解説してもらい
例えば・あなたの歯並びの悪い部分はこのあたりで、ココに歯垢がたまりやすくムシ歯になる
例えば・あなたのだ液を検査してみたら、ムシ歯になりやすい性質だった
 - ②日々の暮らしの中でできるムシ歯予防の「**具体的な対策**」をアドバイスしてもらい
例えば・だから、毎晩3～5分程度はかかるけど、寝る前の歯磨きは糸ようじを使って、このように歯垢を取ろう
例えば・毎食後、歯を磨くのが理想だけど、日々の暮らしを考えるとそうはいかないだろうから、朝食と昼食の後、口をゆすぐだけでも予防効果はある
 - ③それを、あなたが「**日々の暮らしの中で**」積み上げていけば、「2ヵ月後」の受診時も、ムシ歯にならずに済みますよね! /これも**当たり前(その2)**

○例え話(その2)：ピアノのレッスン編

- 1) あるところに、ピアノの教え方が上手で有名な「ピアノ教室・木村」がありました。40歳になってようやくピアノを習いたくなったあなたは、その教室に通い始めました(=四十の手習い……人間って何歳になっても新しいことが学べる)。そして、木村先生はうわさ以上の腕前で、40分程のレッスンで、あなたの指がスラスラ動き、課題曲が弾けるようになりました(実際にはありえないけど……)。一回目のレッスンが終わって、次のレッスンの予約を取ることになりましたが、人気があり「**1ヵ月**」先の予約(1ヶ月に1回の頻度)しか取れませんでした。
- 2) 次の「1ヶ月間」、一回も鍵盤に向かわなければ……2回目のレッスンはレベルダウンしたところからでしかスタートできない /これって**当たり前(その1)**
- 3) もし木村先生から
 - ①指の運びについての「**ウィークポイント**」をわかりやすく解説してもらい
例えば・あなたの指の動きをみると、小指と薬指の入れ替えのところでもつれやすい
 - ②日々の暮らしの中でできる「**具体的な練習のしかた**」をアドバイスしてもらい
例えば・課題の曲を全部弾くのは大変だろうから、楽譜のココからココまでを重点的に練習すると効果的です
 - ③それを、あなたが「**日々の暮らしの中で**」積み上げていけば、次のレッスンでは、一段レベルアップしたところからスタートできるはず /これも**当たり前(その2)**

3. 提案1：「おまかせ療育」からの卒業を

1) 下手に口出しするのは気が引ける？

～この時間、専門家(心理・S T・P T・O T・医師等々)に任せてあるのだから……

2) 担当してくれている先生から聞き出す努力を！

～黙っているのではなくて、「日々の暮らし」の中で出来るプログラムを尋ねよう！

4. 提案2：「ワン・ポイント・レッスン」の実現のために、担当している先生に質問！

1) まずは「目的」

～この活動＝プログラムは、何を「ねらい」にしているのですか？
我が子のつまずきの何が改善できるのですか？

2) そして「時間的な見通し」

～そのねらいが達成されるには「どのくらいの期間」がかかるのですか？

3) さらに「根拠」

～この活動＝プログラムが「効果ありと言える理由や裏付け」は？

4) および「主訴との関連」

～育てている親である「私」の「心配ごとや悩みとの関連」

5) 最後に、数ある課題の「重み付け」

～我が子にとって、この活動＝プログラムを実施する際の「優先順位」は？

◆指導者の方々へ ～ホームプログラムの5条件～

1. 「子育てニード」に応える……親は「指導」ではなく「支援」の対象

1) 子ども(対象児)には、「発達ニード」がある

2) 親(父親・母親)には、「子育てニード」がある

3) 双方のニードに応じて、初めて「プロ」＝ジェネラリスト&スペシャリスト

4) 親の、当面の要求は「治してほしい」「良くしてほしい」「発達を伸ばしてほしい」
だが、根底にあるニードは……、

①「我が子が、どうしてこんな状態にあるのか(現状と原因)を説明してほしい」

②「この先、どのように育っていくのか(見通し)を解説してほしい」

③「日常生活の中で“親”でもできること(対策)を、アドバイスしてほしい」

5) **そのためには、指導者側に「発達の視点」と「療育的視点」が必要不可欠！！**

2. “ホームプログラム”として実現！＝「地域生活支援」時代のスタンダード ～その際のフィードバック5カ条

1) 「理にかなって(理解もしやすく)」

2) 「お金」もかけず

3) 「時間」もかからず

4) 「労力」も少なく

5) 「効果」が大きい

すべての条件を満たすアドバイス
ができるとしたら、プロ中のプロ
ですね！！

※ ホームプログラムの第一義は、

決して「教育効果・療育効果・訓練効果」を出すことが中心課題ではなく、
「親の自己有能感の回復」につながるものであること！！

指導者 or 親として"努力"してみしてほしいこと(木村の期待)

1. まずは、担当児 or 我が子の「気になること」を書き出してみよう！

ひたすら、ランダムに
 思いつくまま、そのままに
 小さいことも、大きいことも
 何枚もになっても構わないので、書き連ねる

2. 次は、「気になること」を"分類"してみよう！ ~ 重複してもよい

- 1) 「気になること」を分類する項目は、子どもの状態に合わせて作っていく
- 2) 一つの状態が、二つ以上の項目にまたがることも多々ある
例：「食べこぼしが多い」 "身辺自立"&"手先の器用さ"&"お行儀"
- 3) 下記の項目は、単なる参考例です

健康に関すること

〔

ことばに関すること

〔
・発語
・理解 etc

知能・認知に関すること

〔

身辺自立に関すること

〔
・トイレ
・食事
・着替え etc

情緒・感情に関すること

〔

全身運動(動作)に関すること

〔

コミュニケーション・社会性に関すること

〔

手の使い方・手先の器用さに関すること

〔

見栄え・お行儀の良さに関すること

〔

生活リズム・睡眠リズムに関すること

〔

3. 最後に、「気になること」を"順序づけ"してみよう！

「上位3つ」くらいから"相談"に乗ってもらったり、取り組みを始めよう

〔